

令和 7 年度

防府市ごみ処理実施計画

令和 7 年 6 月

防府市クリーンセンター

令和 7 年度防府市ごみ処理実施計画 目次

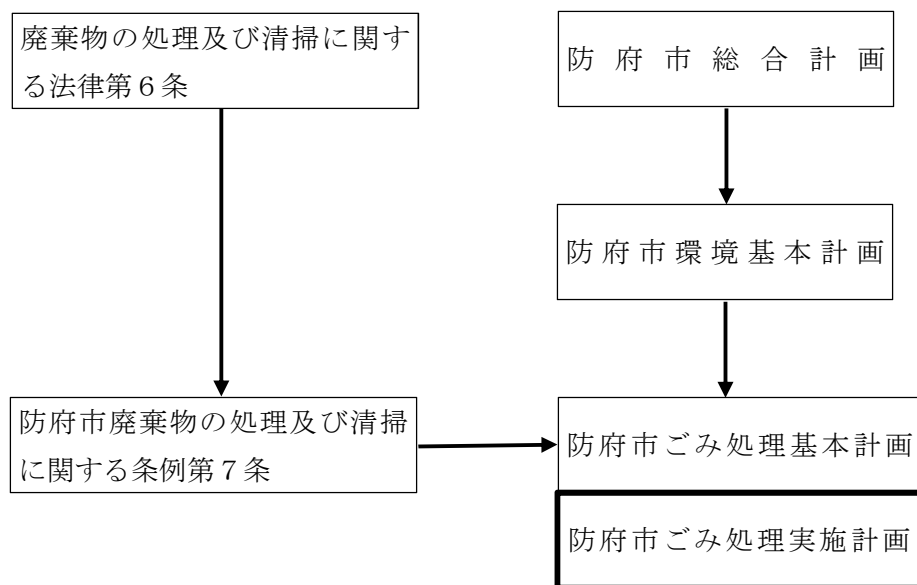
1	基本的事項	1
2	令和 6 年度ごみ処理状況	2
2-1	ごみ処理実績	2
(1)	ごみ排出量	2
(2)	ごみ排出状況	2
(3)	中間処理実績	3
(4)	最終処分実績	3
(5)	ごみ処理基本計画の目標数値の達成状況	3
2-2	ごみ減量化に向けた令和 6 年度の実施状況	4
3	令和 7 年度ごみ処理実施計画	7
3-1	ごみ排出量目標	7
3-2	収集・運搬計画	7
(1)	家庭系ごみの分別収集	7
(2)	家庭系ごみの収集日程	8
(3)	事業系ごみの収集・運搬	9
3-3	中間処理計画	10
(1)	燃やせるごみ（可燃ごみ）	10
(2)	燃やせないごみ（不燃ごみ）、粗大・危険ごみ	10
(3)	資源ごみ	10
(4)	処理できないごみ（処理困難物）	11
3-4	最終処分計画	11
3-5	処理施設	12
4	ごみ減量化に向けた令和 7 年度実施方針	13
資料 1	令和 6 年度一般廃棄物処理フロー及び処理実績	16
資料 2	令和 7 年度一般廃棄物処理フロー及び処理目標量	17
資料 3	令和 7 年度家庭系ごみの分別区分及び収集運搬方式	18
資料 4	ごみ排出量及びリサイクル量等の推移	19

1 基本的事項

(1) 目的

前年度（令和6年度）のごみ処理実績を踏まえて、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項及び防府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第7条の規定による防府市ごみ処理基本計画に基づく令和7年度のごみ処理実施計画を定めるものです。

(2) 計画の位置づけ



(3) 計画期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日までとします。

(4) 処理区域・人口等

① 処理区域 防府市の全域（189.37km²）

② 処理世帯及び人口（令和7年4月1日現在）

- ・人口 112,279人（男：54,761人 女：57,518人）
- ・世帯数 56,974世帯

2 令和6年度ごみ処理状況

2-1 ごみ処理実績

(1) ごみ排出量

(単位：t)

区分		令和6年度実績	令和5年度実績
可燃ごみ	家庭系	19,468	19,978
	事業系	12,444	12,540
	小計	31,912	32,518
不燃・粗大・ 危険ごみ	家庭系	1,997	2,033
	事業系	131	116
	小計	2,128	2,149
資源ごみ		1,792	1,911
資源ごみ集団回収		240	273
埋立ごみ（直接埋立）		272	243
計（総排出量）		36,344	37,094

(詳細は、[資料1](#) 令和6年度一般廃棄物処理フロー及び処理実績 参照)

(2) ごみ排出状況

- ① 燃やせるごみ（可燃ごみ）の排出量は31,912tで、前年度に比べ606t（1.8%）減少しました。ごみ処理基本計画の目標達成時の令和6年度推計値（以下「推計値」）である28,954tを2,958t上回っており、ごみ減量化の取組を強化する必要があります。
- ② 燃やせないごみ（不燃ごみ）、粗大ごみ及び危険ごみの排出量は、2,128tで、前年度に比べ21t減少しており、推計値1,739tを389t上回っています。
- ③ 資源ごみの収集量は、1,792tで推計値3,516tを1,724t下回っています。品目別では、前年度に比べ、乾電池（37%減）、蛍光管（25%減）、びん類（13%減）、スチール缶（11%減）の減少率が高い結果となりました。なお、増加した主な品目は、紙パック（31%増）です。また、集団回収量は240tで推計値の522tを下回っています。
- ④ 埋立ごみの直接埋立量は272tで前年度に比べ29t増加しました。

(3) 中間処理実績

- ① 可燃ごみ処理施設でのごみ発電は、約 1, 7 6 4 万 k W h の発電を行い、これは一般家庭約 4, 4 1 0 世帯分の消費電力に相当します。また、資源化不適物除去後の焼却灰については、全量セメント原料化を継続して行っています。
- ② バイオガス化施設には、可燃ごみの約 1 4 % にあたる 4, 5 7 4 t の可燃ごみを投入し、メタンガスの発生量は 1, 4 8 9 千 N m³ となりました。(発生量はし尿及び浄化センター汚泥寄与分を含みます。)

(4) 最終処分実績

- ① 埋立ごみの搬入量は、1, 0 4 5 t で前年度に比べ 1 3 t 減少しました。

(5) ごみ処理基本計画の目標数値の達成状況

- ① 1 人 1 日あたりの家庭系ごみ排出量(資源回収量を除く。)は、5 2 6 g と前年度に比べ 8 g 減少していますが、令和 6 年度の目標数値を 8 9 g 上回っています。目標数値達成のためには、市民へのごみ減量化のための啓発を強化する必要があります。
- ② 事業系ごみ排出量は、1 2, 5 7 5 t で、前年度に比べ 8 1 t 減少していますが、令和 6 年度の目標数値を 1, 2 6 2 t 上回っており、目標数値達成のためには、多量排出事業者への指導を継続する必要があります。
- ③ リサイクル率は、前年度の 2 4. 9 % から 2 5. 4 % と 0. 5 ポイント増加しているが、令和 6 年度の目標数値を 1 0 ポイント下回っており、目標数値達成のためには、ごみの減量化や資源ごみ回収の取組をさらに強化する必要があります。

【ごみ処理基本計画の目標数値との比較】

区分	R6 年度 実績	R5 年度 実績	ごみ処理基本計画	
			目標 (R6 年度)	最終目標 (R13 年度)
1 人 1 日あたりの家庭系ごみ排出量 (資源回収量を除く。)	526g	534g	437. 2g	405g
事業系ごみ排出量	12, 575 t	12, 656 t	11, 313t	9, 883t
リサイクル率	25. 4%	24. 9%	35. 0%	38. 9%

2-2 ごみ減量化に向けた令和6年度の取組状況

基本方針Ⅰ 発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の推進

実施項目	実施内容	個別施策
クリーンセンター施設見学の受入	小学校 13 校、一般 6 団体 計 1,210 人	1-①
紙すき体験の実施	170 人参加	
ほうふエコまつりの開催	6 月開催、1,140 人来場	
聞いて得するふるさと講座の開催	1 回実施	1-②
愛情防府フリーマーケットでの分別ゲームの実施	10 月開催、57 人参加	
市広報へのごみ出しルール等の掲載	12 回掲載	1-③
家庭ごみ分別収集カレンダーの配布	3 月に全戸配布	
新しいごみの分け方・出し方の配布	転入者等に配布	
ごみ分別アプリによる分別方法等の周知	令和 7 年 3 月末時点登録件数:10,837 件	
プラスチックごみ削減に向けた分かりやすい情報発信	市ホームページに掲載	
効率的なプラスチック資源の分別収集・リサイクルの手法の検討	プラスチック製品一括回収に向けた設備改修及び実証事業の検討	2-④
指定ごみ袋のレジ袋化	市内 8 店舗にて指定ごみ袋をレジ袋に活用する取組みを試行実施	
食品ロス削減に向けた「やまぐち食べきり協力店」及び「ぶちエコ食品ロス削減パートナー」の登録推進	対象事業者へ登録依頼文を送付 (R7.3 月末登録店舗数) やまぐち食べきり協力店:51 店舗 ぶちエコ食品ロス削減パートナー:12 店舗	2-⑤
フードドライブの開催	6 月「ほうふエコまつり」にて開催 10 月「愛情防府フリーマーケット」にて開催	
水切りの必要性の周知及び水切り用品の紹介等	市ホームページに掲載	2-⑥
生ごみ処理機等の購入費助成	生ごみ減量容器 16 基 60,200 円 電動生ごみ処理機 25 台 601,500 円 紙おむつ保管容器 3 台 8,300 円	2-⑦
ダンボールコンポストの普及啓発	5 月～10 月に 8 回開催 85 人参加	
事業系廃棄物の減量及び適正処理の手引きの配布	クリーンセンター窓口にて、随時配布	3-⑧
家具等再利用品の譲渡会の実施	12 回開催、申込 1,731 件、譲渡 211 件	4-⑫

基本方針Ⅱ 再生利用（リサイクル）の推進

実施項目	実施内容	個別施策
ごみの分け方・出し方（外国語版）の配付	英語、中国語、韓国語、ベトナム語版を配付	1-①
廃棄物減量等推進員と連携した分別指導の実施	5月開催 316人参加	1-③
資源化推進事業による集団回収への助成	80団体実施、240t回収、1,119,160円	1-④
店頭回収事業者の実態調査及び市ホームページでの紹介	店頭回収実施店舗及び回収品目一覧を市ホームページで紹介	2-⑤
リサイクル施設での事業系の古紙等資源ごみの無料受入の実施	事業系資源ごみ搬入量 154t	2-⑥
小型家電の拠点回収（出張所・市役所等への回収ボックスの設置）	12か所、回収量 4,070kg	3-⑦
びん類等の排出機会の拡充	令和6年度から排出機会拡充実施	
不燃ごみからの鉄・アルミニウム等の選別回収	回収量 鉄 373t・アルミニウム 30t・その他 8t	3-⑧
羽毛ふとんの回収	クリーンセンターにて回収 回収量 1,968枚、4t	
焼却灰の全量セメント原料化を実施	焼却灰セメント原料化 2,954t	3-⑨

基本方針Ⅲ 環境負荷の低減に配慮した適正処理の推進

実施項目	実施内容	個別施策
可燃ごみ収集の民間委託	収集車両 1 日 16 台中、10 台を民間委託	1-①
ごみステーション整備への助成	散乱防止用品 19 基 38,800 円 収納容器 54 基 2,873,400 円 固定施設 0 箇所 0 円 改修 13 箇所 117,200 円	1-③
搬入物検査の実施（可燃ごみ、資源ごみ）	事業系可燃ごみ及び事業系資源ごみで実施。886 件中、指導 157 件、持ち帰り 99 件	1-⑤
搬入基準違反者への処分基準の適用	適用事例なし	
高齢者等ふれあい戸別収集の実施	対象者 44 人	1-⑧
家庭系一時多量ごみの有料戸別収集制度の拡充	家庭系一時多量ごみの収集運搬業許可の民間開放に向けた協議を継続	1-⑨
バイオガス化施設での可燃ごみ処理	可燃ごみの約 14%、4,574 t を投入	2-⑪
バイオガスを利用した高効率廃棄物発電	発電量 1,763 万 kWh	
運営事業者との月例協議会の開催及び業務監査の実施	月例協議会を毎月開催、令和 6 年度事業の業務監査を実施	2-⑫
ごみ発電により施設内電力を賄い、温室効果ガス排出量を削減	基準年度（令和 2 年度）比、温室効果ガス削減量 7,867t	2-⑬
バイオマスプラスチック製指定ごみ袋の導入	継続実施	2-⑭
自治会への消毒機の貸出	消毒機貸出 35 件	4-⑯
不法投棄パトロールの実施	月 1 回以上実施	4-⑰
不法投棄監視カメラの運用	継続実施	
不法投棄防止 P R	市広報、市ホームページに不法投棄防止の記事を掲載	
災害廃棄物処理対策マニュアルの策定	マニュアル策定に向けての基礎的事項の整理	4-⑱
災害時のごみ処理等に係る協定の検討	協定内容及び協定先の検討	4-⑲

3 令和7年度ごみ処理実施計画

3-1 ごみ排出量目標

(単位：t)

区分		令和7年度目標	令和6年度実績
可燃ごみ	家庭系	16,402	19,468
	事業系	11,197	12,444
	小計	27,599	31,912
不燃・粗大・危険ごみ	家庭系	1,519	1,997
	事業系	116	131
	小計	1,635	2,128
資源ごみ		4,002	1,792
資源ごみ集団回収		594	240
埋立ごみ（直接埋立）		263	272
計（総排出量）		34,093	36,344

(資料2 令和7年度一般廃棄物処理フロー及び処理目標量 参照)

3-2 収集・運搬計画

(1) 家庭系ごみの分別収集

家庭から排出されるごみについては、燃やせるごみ（可燃ごみ）、燃やせないごみ（不燃ごみ）、資源ごみ、危険ごみに分類し、資源ごみは11区分の分別により収集します。

家庭ごみを集積場所まで出すことが困難な高齢者や障がい者等については、申請により無料戸別収集（高齢者等ふれあい戸別収集）を行います。

粗大ごみや引越時等の一時多量ごみ、家電リサイクル券が添付された特定家庭用機器、犬や猫等のペットの死体は、申込制により有料戸別収集を行います。

(2) 家庭系ごみの収集日程（野島地域を除く。）

家庭系ごみの収集は、地域単位に、次の日程等で実施します。

① 燃やせるごみ（可燃ごみ）

ア 収集回数 週 2 回

イ 収集運搬体制 直営及び委託

ウ 収集日程

収集日	収集地域
月・木曜日	松崎・佐波・勝間・向島・西浦・右田・玉祖・富海・小野・大道
火・金曜日	牟礼・華浦・新田・中関・華城

② プラスチック製容器包装

ア 収集回数 週 1 回

イ 収集運搬体制 直営

ウ 収集日程

収集曜日	収集地域				
月曜日	中関	華城			
火曜日	松崎	佐波	西浦	玉祖	大道
木曜日	牟礼	華浦	新田		
金曜日	勝間	向島	右田	富海	小野

③ 燃やせないごみ（不燃ごみ）

ア 収集回数 月 1 回

イ 収集運搬体制 直営

ウ 収集日程

収集日	月曜日	火曜日	木曜日	金曜日
第 1 週	牟礼南	牟礼	小野	富海
第 2 週	向島	松崎	右田	玉祖
第 3 週	中関	華浦	新田	大道
第 4 週	勝間	佐波	華城	西浦

※ 牟礼地域は、小学校区単位で収集します。

④ 資源ごみ・危険ごみ

ア 収集回数 月 1 回（水曜日）

イ 収集運搬体制 直営及び委託

ウ 収集日程

収集日	収集地域			
第 1 週水曜日	華浦	新田	中関	大道
第 2 週水曜日	佐波	勝間	華城	西浦
第 3 週水曜日	牟礼	富海	小野	
第 4 週水曜日	松崎	向島	右田	玉祖

※ 1 家庭ごみの分別区分等の詳細は、**資料 3** 家庭ごみの分別区分及び収集運搬方式に掲載しています。

※ 2 祝日等により収集日を変更することがあります。

※ 3 不燃ごみと資源ごみ・危険ごみの収集日程は、原則として毎月の第 1 日曜日を起算日として設定しています。

(3) 事業系ごみの収集・運搬

① 事業所の事業活動により出されるごみは、原則、市では収集せず、排出事業者の自己処理、排出事業者自らによる処理施設への搬入又は一般廃棄物収集運搬許可業者に収集運搬を委託する方法で処理します。現在、事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者は 7 7 社あります。

② 事業系ごみの有料収集制度

少量の事業系可燃ごみ及びプラスチック製容器包装については、事業者からの申し込みにより市が家庭系ごみの収集に併せて定期収集します。

【制度の概要】

- ・袋数 4 5 リットル袋で 4 袋まで
- ・料金 1 袋あたり 1, 6 0 0 円/月（消費税等込み）
- ・収集日 家庭系の可燃ごみ・プラスチック製容器包装の収集日

3-3 中間処理計画

(1) 燃やせるごみ（可燃ごみ）

- ① クリーンセンター可燃ごみ処理施設で、発酵に適した生ごみ等の一部はバイオガス化施設で発酵処理し、その他のごみは焼却処理を行います。
- ② 資源化不適物除去後の焼却灰は、全量セメント原料化します。

(2) 燃やせないごみ（不燃ごみ）、粗大・危険ごみ

- ① クリーンセンターリサイクル施設で破砕・選別を行い、鉄・アルミニウム等の金属類は売却し、可燃物は可燃ごみ処理施設へ搬送し焼却処理し、不燃残渣は最終処分場へ搬出します。
- ② 小型家電は小型家電リサイクル法認定事業者へ引き渡し、リサイクル処理します。
- ③ 危険ごみの内、乾電池類と蛍光灯は、リサイクル処理業者へ引き渡しリサイクル処理します。
- ④ 粗大ごみの内、家具等で再利用できるものは、再用品としてクリーンセンター可燃ごみ処理施設の再用品展示コーナーに展示し、市民に譲渡します。
- ⑤ 粗大ごみの内、羽毛布団は、山口県共同募金会が行う羽毛製品リサイクルの取組に参加し、リサイクルします。

(3) 資源ごみ

- ① 古紙類は、古紙回収事業者へ引き渡します。
- ② 缶（スチール缶・アルミ缶）は、圧縮・梱包後に金属回収業者へ引き渡します。
- ③ びん類は、選別・一時貯留後、再商品化事業者へ引き渡します。
- ④ ペットボトル、プラスチック製容器包装及び紙製容器包装は、クリーンセンターリサイクル施設において、異物除去と圧縮・梱包を行い、日本容器包装リサイクル協会を通じて資源化します。
- ⑤ 古着・古布は古布等回収業者へ引き渡し、ウェス（工業用雑巾）などへとりサイクルします。

(4) 処理できないごみ（処理困難物）

- ① 家電リサイクル法対象品であるエアコン、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫
- ② 消火器、バイク、自動車部品、農業用機器、タイヤ、耐火金庫、温水器、医療系廃棄物、灯油・ガソリン、農薬・劇薬、塗料、バッテリー、ピアノ、浴槽等

3－4 最終処分計画

埋立ごみは、一般廃棄物最終処分場で最終処分（埋立）します。

また、可燃ごみ処理施設で発生するセメント原料化に適さない焼却残渣やリサイクル施設で不燃ごみ等を破碎・選別したときに発生する破碎残渣を合わせて最終処分します。

3-5 処理施設

可燃ごみ処理施設

施設名	防府市クリーンセンター可燃ごみ処理施設バイオガス化施設
所在地	防府市大字新田364番地
施設管理	委託
発酵方式	乾式高温メタン発酵(コンボガス方式)
発酵槽規模	可燃ごみ:34.4t/日 汚泥:17.1t/日 合計:51.5t/日 発酵槽容量(有効):1,000m ³ ×2系列 横型(直径6.8m×長さ34m)
発酵日数	最長20日間程度
稼動年月	平成26年4月

施設名	防府市クリーンセンター可燃ごみ処理施設焼却施設
所在地	防府市大字新田364番地
施設管理	委託
処理方式	連続燃焼ストーカ式並行流焼却炉(排ガス再循環システム)
処理能力	150t/日(75t/日×2基)
蒸気タービン発電機	蒸気タービン定格出力:3,600kw(2炉運転時、高質ごみ、冬季)
稼動年月	平成26年4月

リサイクル施設

施設名	防府市クリーンセンターリサイクル施設
所在地	防府市大字新田364番地
施設管理	委託
処理能力	23t/5時間
破碎設備	粗破碎機(二軸低速回転式破碎機) 細破碎機(横型高速回転式破碎機) 紙製容器破袋機 プラ容器破袋機
選別設備	粗大磁選機、不燃可燃等選別機、粗大アルミ選別機、風力選別機、手選別コンベヤ
圧縮梱包設備	缶プレス機、ペットボトル圧縮梱包機、紙製容器圧縮梱包機、プラ容器圧縮梱包機
稼動年月	平成26年4月

最終処分場

施設名	防府市一般廃棄物最終処分場
所在地	防府市大字田島10477番地
施設管理	直営
埋立容量	316,000立方メートル
埋立構造	準好気性埋立
埋立工法	セル方式
埋立開始年月	平成9年1月

4 ごみ減量化に向けた令和7年度取組方針

基本方針1 2R（発生抑制（リデュース）・再使用（リユース））の推進

実施項目	実施内容	個別施策
クリーンセンター施設見学の受入	継続実施	1-①
紙すき体験の実施	継続実施	
ほうふエコまつりの開催	6月開催	
夏休み親子体験イベントの開催	8月開催	
聞いて得するふるさと講座の開催	年1回以上開催予定	1-②
愛情ほうふフリーマーケットでの分別ゲーム等の開催	10月開催	
市広報へのごみ出しルール等の掲載	年15回掲載予定	1-③
家庭ごみ分別収集カレンダーの配布	2月に全戸配布予定	
新しいごみの分け方・出し方の配布	転入者等に配布	
ごみ分別アプリによる分別方法等の周知	継続実施	
可燃ごみ種類別組成の分析・公表	ホームページに掲載	
プラスチックごみ削減に向けた分かりやすい情報発信	ホームページに掲載	2-④
効率的なプラスチック資源の分別収集・リサイクル	プラスチック製品一括回収に向けた実証事業	
指定ごみ袋のレジ袋化	試行継続実施	
食品ロス削減に向けた「やまぐち食べきり協力店」及び「ぶちエコ食品ロス削減パートナー」の登録推進	ホームページに掲載	2-⑤
フードドライブの開催	6月「ほうふエコまつり」にて開催 10月「愛情防府フリーマーケット」にて開催	
水切りの必要性の周知及び水切り用品の紹介等	ホームページに掲載	2-⑥
生ごみ処理機等の購入費助成	継続実施	2-⑦
ダンボールコンポストの普及啓発	5月、6月（ほうふエコまつり）、7月（夏休み親子教室）、9～11月（公民館等）に、ダンボールコンポスト教室を開催予定	
事業系廃棄物の減量及び処理の手引きの配布	窓口等での配布を継続	3-⑧
多量排出事業者に対するごみ減量化に向けた訪問指導の実施	前年度指導した事業者の搬入実績データの検証及び多量排出事業者への新規訪問指導を実施予定	3-⑨
家具等再利用品の譲渡会の実施	年12回開催予定	4-⑫

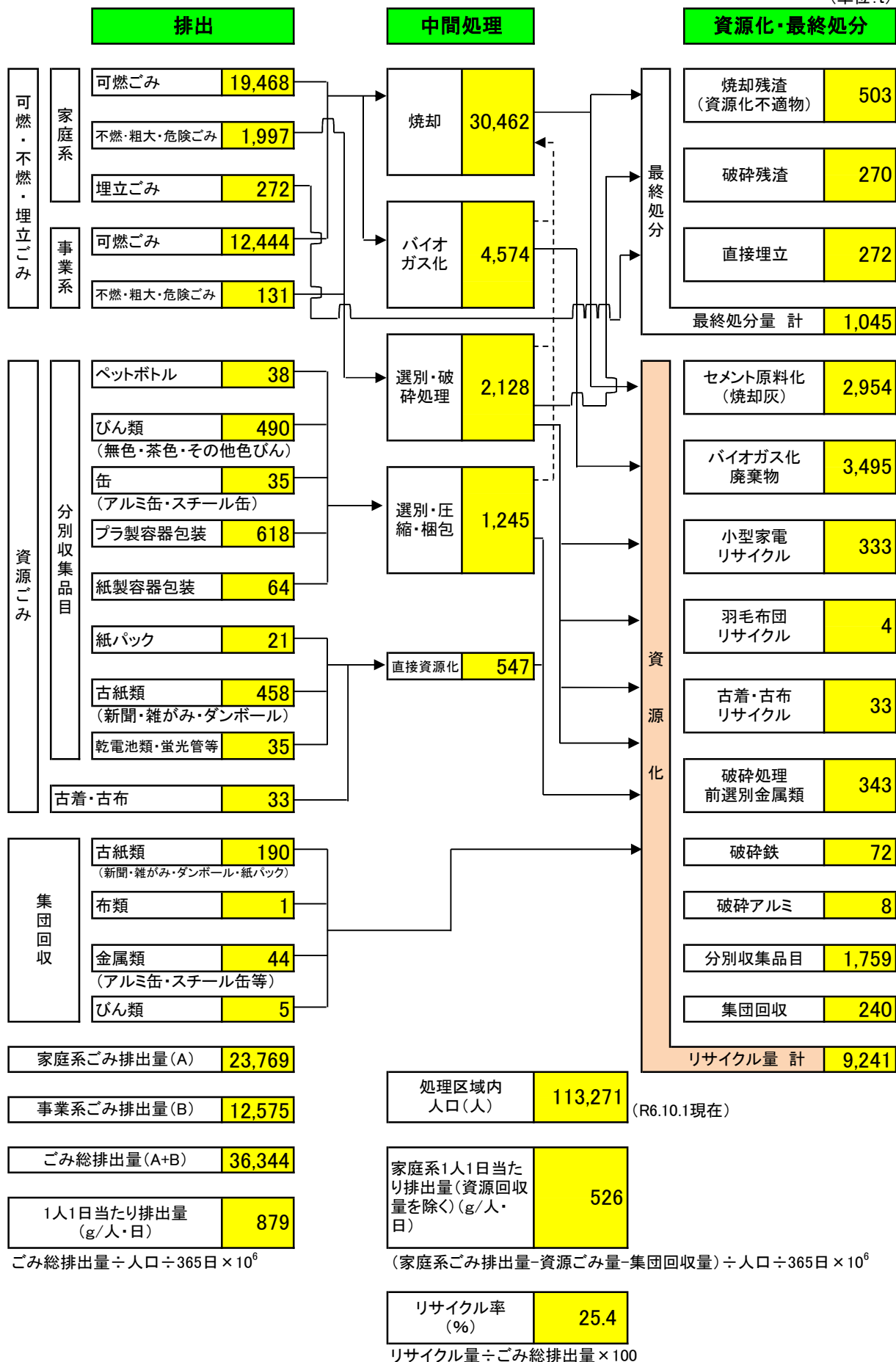
基本方針２ 再生利用（リサイクル）の推進

実施項目	実施内容	個別施策
ごみの分け方・出し方（外国語版）の配付	英語、中国語、韓国語、ベトナム語版を配付	1-①
廃棄物減量等推進員と連携した分別指導の実施	継続実施	1-③
資源化推進事業による集団回収への助成	継続実施	1-④
リサイクル施設での事業系の資源ごみの無料受入の実施	継続実施	2-⑥
小型家電の拠点回収（出張所・市役所等への回収ボックスの設置）	継続実施	3-⑦
びん類等の排出機会の拡充実施	継続実施	
不燃ごみからの鉄・アルミニウム等の選別回収	資源回収見込量 鉄 309 t・アルミニウム 28 t・その他 7 t	3-⑧
羽毛ふとんの回収	資源回収見込量 2t	
焼却灰の全量セメント原料化を実施	焼却灰セメント原料化見込量 2,493t	3-⑨

基本方針 3 適正処理の推進

実施項目	実施内容	個別施策
可燃ごみ収集の民間委託	収集車両 1 日 16 台中、10 台を民間委託	1-①
ごみステーション整備への助成	継続実施	1-③
搬入物検査の実施（可燃ごみ、資源ごみ）	継続実施	1-⑤
搬入基準違反者への処分基準の適用	継続実施	
高齢者等ふれあい戸別収集の実施	継続実施	1-⑧
家庭系一時多量ごみの有料戸別収集制度の拡充	家庭系一時多量ごみの収集運搬業許可の民間開放に向けた協議を継続	1-⑨
バイオガス化施設での可燃ごみ処理	投入量 可燃ごみの約 14%、4,574 t	2-⑪
バイオガスを利用した高効率廃棄物発電	発電量 1,800 万 kWh	
運営事業者との月例協議会の開催及び業務監査の実施	継続実施	2-⑫
ごみ発電により施設内電力を賄い、温室効果ガス排出量を削減	基準年度（令和 2 年度）比、温室効果ガス削減見込量 3,478t	2-⑬
バイオマスプラスチック製指定ごみ袋の製作	継続実施	2-⑭
自治会への消毒機の貸出	継続実施	4-⑯
不法投棄パトロールの実施	月 1 回以上実施	4-⑰
不法投棄監視カメラの運用	継続実施	
不法投棄防止 P R	市広報及び市ホームページに掲載	
不適正な野外焼却防止 P R	市広報及び市ホームページに掲載	
災害廃棄物ステーションの周知・再確認	自治会へ災害廃棄物ステーションの周知及び再確認を実施	4-⑱
災害廃棄物処理計画の見直し	災害廃棄物処理計画の見直しを実施	
災害時のごみ処理等に係る協定の検討	協定内容及び協定先を検討	4-⑲

(単位:t)



排出 (Emission)

可燃・不燃・埋立ごみ	家庭系	可燃ごみ	16,402
		不燃・粗大・危険ごみ	1,519
		埋立ごみ	263
	事業系	可燃ごみ	11,197
		不燃・粗大・危険ごみ	116
		資源ごみ	

中間処理 (Intermediate Processing)

焼却	26,338
バイオガス化	4,406
選別・破砕処理	1,635
選別・圧縮・梱包	2,728
直接資源化	1,274

資源化・最終処分 (Resource Recycling and Final Disposal)

焼却残渣 (資源化不適物)	505
破砕残渣	221
直接埋立	263
最終処分量 計	989
セメント原料化 (焼却灰)	2,493
バイオガス化 廃棄物	4,271
小型家電 リサイクル	217
羽毛布団 リサイクル	2
古着・古布 リサイクル	75
破砕処理 前選別金属類	262
破砕鉄	75
破砕アルミ	6
分別収集品目	3,927
集団回収	594
リサイクル量 計	11,921

分別収集品目 (Separate Collection Items)

ペットボトル	84
びん類 (無色・茶色・その他色びん)	1,134
缶 (アルミ缶・スチール缶)	82
プラ製容器包装	1,280
紙製容器包装	148
紙パック	13
古紙類 (新聞・雑がみ・ダンボール)	1,109
乾電池類・蛍光管等	77
古着・古布	75

集団回収 (Group Collection)

古紙類 (新聞・雑がみ・ダンボール・紙パック)	483
布類	2
金属類	96
びん類	13

排出量 (Emission Quantities)

家庭系ごみ排出量(A)	22,780
事業系ごみ排出量(B)	11,313
ごみ総排出量(A+B)	34,093
1人1日当たり排出量 (g/人・日)	820

処理区域内人口 (Population in the Treatment Area)

処理区域内人口(人)	113,957
------------	---------

家庭系1人1日当たり排出量 (資源回収量を除く) (g/人・日)

家庭系1人1日当たり排出量 (資源回収量を除く) (g/人・日)	437
----------------------------------	-----

リサイクル率 (%)

リサイクル率 (%)	35.0
------------	------

計算式 (Calculation Formula):

ごみ総排出量 ÷ 人口 ÷ 365日 × 10⁶

リサイクル率 (%) = (リサイクル量 ÷ ごみ総排出量) × 100

家庭系1人1日当たり排出量 (資源回収量を除く) (g/人・日) = (家庭系ごみ排出量 - 資源ごみ量 - 集団回収量) ÷ 人口 ÷ 365日 × 10⁶

令和 7 年度 家庭系ごみの分別区分及び収集運搬方式

分類	分別区分	ごみの内容	収集体制	収集場所	収集回数	手数料
可燃ごみ	燃やせるごみ	厨芥類、草木、プラスチックなど	市直営・民間委託	可燃ごみステーション (R6 : 3,952か所)	週2回	有料 (指定袋)
不燃ごみ	燃やせないごみ	金属類、電化製品、石油器具など	市直営	不燃ごみステーション (R6 : 311か所※)	月1回	無料
危険ごみ	スプレー缶類	スプレー缶、カセットボンベ	市直営	資源ごみ・危険ごみステーション (R6 : 288か所※)	月1回	無料
	乾電池類	アルカリ乾電池、マンガン乾電池、ボタン電池など				
	水銀体温計	水銀体温計				
	蛍光灯	蛍光灯				
	ライター類	使い捨てライター、大型ライター				
	陶磁器・ガラス類	陶磁器、ガラス				
資源ごみ	缶(アルミ缶・スチール缶)	飲料や食品(ペットフード含む。)が入っていた缶(飲料缶、缶詰、粉ミルク缶など)	民間委託			
	ペットボトル	ペットボトル	民間委託			
	無色びん	食品、化粧品及び医薬品の無色びん	市直営			
	茶色びん	食品、化粧品及び医薬品の茶色びん	民間委託			
	その他色びん	食品、化粧品及び医薬品のその他色びん	市直営			
	新聞	新聞、折込広告	民間委託			
	雑誌がみ	雑誌、厚紙、コピー用紙、シュレッダーがみ、はがきなど	市直営			
	ダンボール	ダンボール	民間委託			
	紙製容器包装	紙袋、包装紙、紙箱、アルミの貼った紙バックなど	市直営			
	紙バック	飲料用紙バック	市直営			
	プラスチック製容器包装	プラスチック製の容器や包装(ボトル類、ポリ袋、トレイなど)	市直営	可燃ごみステーション (R6 : 3,952か所)	週1回	無料
	古着・古布	家庭から発生した古着や古布	-	クリーンセンターへの持込	-	-
申込制収集ごみ	一時多量ごみ	家具等粗大ごみ、その他上記品目	市直営	戸別収集	随時	有料
	特定家庭用機器	テレビ、エアコン、洗濯機、衣類乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫				
	犬や猫などのペットの死体	犬や猫などのペットの死体				
埋立ごみ	埋立ごみ (少量であれば、一時多量ごみとして戸別収集)	瓦、コンクリートの破片等	-	最終処分場への持込	-	-

※ 箇所数は、市で収集を行っている不燃ごみ、資源ごみ・危険ごみステーションの数です。自主搬入を実施している自治会(R6 : 69 地区)は、これらとは別に総数約 100 か所のステーションを自治会で独自に設け、不燃ごみ、危険ごみ及び資源ごみの分別と処理施設への搬入を行います。

【参考】ごみ排出量及びリサイクル量等の推移

資料4

	単位	過去5年間の実績					R7年度 目標量	(基本計画) R7年度
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
ごみ処理人口(10/1人口外国人含む)	人	115,603	114,560	113,816	113,791	113,271	113,957	113,957
ごみ排出量								
①家庭系ごみ		27,408	25,979	25,470	24,165	23,529	22,186	22,186
可燃ごみ	t	21,904	21,249	20,995	19,978	19,468	16,402	16,402
不燃・粗大・危険ごみ	t	2,544	2,315	2,136	2,033	1,997	1,519	1,519
資源ごみ	t	2,089	1,973	1,927	1,911	1,792	4,002	4,002
直接埋立ごみ	t	871	442	412	243	272	263	263
②事業系ごみ		11,859	11,999	12,313	12,656	12,575	11,313	11,313
可燃ごみ	t	11,741	11,858	12,181	12,540	12,444	11,197	11,197
不燃・粗大・危険ごみ	t	118	141	132	116	131	116	116
③集団回収量	t	310	312	300	273	240	594	594
資源化推進事業回収量	t	310	312	300	273	240	594	594
総ごみ排出量(①+②+③)	t	39,577	38,290	38,083	37,094	36,344	34,093	34,093
④家庭系ごみ排出量(①+③)	t	27,718	26,291	25,770	24,438	23,769	22,780	22,780
⑤1人1日あたり家庭系ごみ排出量(資源ごみ除く)	g/人・日	600.0	574.1	566.7	534.3	525.8	437.2	437.2
⑥事業系ごみ排出量(②)	t	11,859	11,999	12,313	12,656	12,575	11,313	11,313
リサイクル量								
⑧分別収集によるリサイクル量(資源ごみ量)	t	2,089	1,973	1,927	1,911	1,792	4,002	4,002
古紙類	t	579	523	496	466	458	1,109	1,109
新聞	t	127	126	108	93	84	243	243
雑誌がみ	t	302	255	254	241	245	579	579
ダンボール	t	150	142	134	132	129	287	287
紙バック	t	7	6	11	16	21	13	13
紙製容器包装	t	77	65	65	64	64	148	148
ペットボトル	t	44	37	42	38	38	84	84
プラスチック製容器包装	t	668	658	652	639	618	1,280	1,280
スチール缶	t	22	21	20	19	17	42	42
アルミ缶	t	21	20	19	18	18	40	40
びん類	t	592	573	555	562	490	1,134	1,134
無色びん	t	263	253	233	247	211	504	504
茶色びん	t	236	227	229	215	201	452	452
その他の色びん	t	93	93	93	100	78	178	178
乾電池	t	29	27	27	46	29	56	56
蛍光管	t	11	9	9	8	6	21	21
古着・古布	t	39	34	31	35	33	75	75
⑨集団回収によるリサイクル量	t	310	312	300	273	240	594	594
資源化推進事業回収量	t	310	312	300	273	240	594	594
古紙類	t	252	255	245	220	190	483	483
布類	t	1	2	1	1	1	2	2
金属類	t	50	48	49	47	44	96	96
びん類	t	7	7	5	5	5	13	13
⑩中間処理によるリサイクル量	t	8,062	8,200	7,785	7,065	7,209	7,326	7,326
可燃ごみ処理施設リサイクル量	t	7,200	7,329	6,997	6,331	6,449	6,764	6,764
バイオガス化廃棄物	t	4,174	4,401	3,976	3,317	3,495	4,271	4,271
焼却灰セメント原料化	t	3,026	2,928	3,021	3,014	2,954	2,493	2,493
リサイクル施設リサイクル量	t	862	871	788	734	760	562	562
前選別金属類・小型家電リサイクル	t	709	771	692	647	676	479	479
羽毛布団リサイクル	t	4	5	5	5	4	2	2
破碎処理金属類	t	149	95	91	82	80	81	81
破碎鉄	t	138	87	83	74	72	75	75
破碎アルミ	t	11	8	8	8	8	6	6
総リサイクル量(⑧+⑨+⑩)	t	10,461	10,485	10,012	9,249	9,241	11,922	11,922
リサイクル率(総リサイクル量/総ごみ排出量)	%	26.4%	27.4%	26.3%	24.9%	25.4%	35.0%	35.0%
最終処分量								
直接埋立ごみ	t	871	442	412	243	272	263	263
焼却残渣	t	617	497	609	551	503	505	505
破碎残渣	t	344	306	272	264	270	221	221
最終処分量計	t	1,832	1,245	1,293	1,058	1,045	989	989
最終処分率(最終処分量/総ごみ排出量)	%	4.6%	3.3%	3.4%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%